

吹上の森1号墳出土遺物

●所在地／米湊 伊予市立図書館 ●所有者／伊曾能神社

本墳は、宮下^{みやのした}にある伊曾能神社^{いそのかみ}南部の丘陵上に所在していたが、昭和20年代の開墾によって破壊消滅したため、墳丘形態も内部主体も不明である。前方^{ぜんぽう}後円墳^{こうえんふん}だとする考えもあるが、その可能性は低く、現状では円墳^{えんふん}とするのが妥当と思われる。

開墾の際、方格四獣文鏡^{ほうかくしじゅうもんきょう}1と筒形銅器^{つつがた}2、紡錘車形石製品^{ぼうすいしゃがた}2、直刀1、鉄剣1が出土した。このうち、筒形銅器は、当時県内では唯一の出土であった。出土遺物からみて、本古墳の被葬者は、古墳時代中期前半の伊予地区東部を統括していた人物とみられ、その人の埋葬に伴う副葬品であると考えられる。

